

社会人（内定者・新入社員）スタンス研修

受け身の学生気分から脱却し、主体的に動く社会人のスタンスに変貌する

本研修の概要

何事も受け身の学生気分から脱却し、社会人としてのスタンスを固める内定者・新入社員向け研修です。個人ワーク・グループワークにより、学生と社会人の違いを自覚。ビジネスマナーや経済産業省が提唱する「社会人基礎力」についても学び、周囲の人に信頼され、仕事で活躍できる「目指す社会人像」を明確に定めます。最後には、研修翌日からの行動計画シートを作成し、「目指す社会人像」に近づくため、どんな心構えで、どのように行動していくかを具体的に整理します。

受講対象・人数

内定者、若手・新人層

※最大で30名程度

所要時間

3～5時間程度

プログラムを若干拡張して、終日(7時間程度※昼休憩60分)の研修として開催することも可能です。お気軽にご相談ください。

プログラム例

第1章 学生と社会人の違い

個人ワーク・グループワークを通じて、学生と社会人では、何がどう違うのか。なぜ、違いが生じるのかを考える

第2章 身に付けておきたい社会人の基本マナー

ちゃんとした社会人度チェックテスト 言葉遣い編／席次編
身だしなみ、挨拶
報・連・相、電話・メール対応

第3章 社会人基礎力

前に踏み出す力（アクション力）
考え抜く力（シンキング）
チームで働く力（チームワーク）

第4章 今日から始める「社会人への準備」

行動計画シート作成

社会人（内定者・新入社員）スタンス研修

受け身の学生気分から脱却し、主体的に動く社会人のスタンスに変貌する

コンテンツイメージ

「社会で活躍する人材」になるために必要な土台とは？

「ちゃんとしてる人」という、印象を与える人になること。
 社会人1年目は、特に仕事を覚える時期であり、
 仕事そのものの前に、
 「どんな人なのか」という印象が先行する傾向あり。

実際に仕事の成果を出す前に、どのような印象を相手に
 持たれるのか。人を相手にする仕事をする以上、相手の
 心理的な影響は無視できない。

皆さんが持つ力量・スキルは一度置いて、「一緒に仕事を
 する人たちに、どのような影響を与えるのか」という視点で
 マナーや立ち振る舞いを学んでいきましょう。



「ちゃんとした社会人度」チェックテスト

言葉遣い編



解説

③ アルバイト敬語(間違った敬語)

よろしかったでしょうか ⇒ よろしいでしょうか
 こちらが資料の方になります ⇒ こちらが資料です

④ 上から目線

ご苦労さまでした ⇒ お疲れさまでした
 了解しました ⇒ 承知しました ※前述

⑤ 重言

「明ける」は、「旧年が終わる＝新年になる」の意。
 「元旦」は1月1日の朝。「自愛」は自分の体を大切にすること

④ 報告・連絡・相談(ホウレンソウ)

報告

進捗状況や結果を知らせる。悪い情報こそ迅速に！

連絡

必要と思われる情報は欠かさず伝える。
 事前に予測できることは、あらかじめ連絡しておく。
 例) 長期で連絡が取れなくなる海外旅行など

相談

意見やアドバイスを積極的に求める。
 困ったときは自分勝手に判断せず、**速やかに**相談する。



社会人基礎力

チームで働く力 (チームワーク)

多様な人と共に、目標に向けて協力する力



- 発信力** 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力** 相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性** 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力** 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性** 社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力** ストレスの発生源に対応する力

コミュニケーションは、「伝える力」だけでなく、
 相手の意見を丁寧に「聞く力」も重要

受講者の声

ルールやマナーを守ることはもちろん、これから社会人として、どのようなスタンスで行動していけばいいかを考える良い機会になりました。

気づくこと、納得することがたくさんあった研修でした。今後、仕事を通じて基本的なマナーを習得しつつ、真心を大切にしたい対応を心がけていきたいです。

具体的な行動目標をワークシートに落とし込めた点が良いかったです。今日の学びを研修の場だけで終わらせるのではなく、職場での行動につなげていきたいと思っています。

これまであまり意識していなかった学生と社会人の違いについて学び、自分が社会人であるという強い自覚を持つことができました。その中でも、人との信頼関係を築くことの大切さを教わったことが最も印象に残っています。

社会人としての自覚を促す研修で、とても気が引き締められました。学生気分がまだまだ抜けていなかったなど痛感しています。自分の行動を見直し、変えていこうと思います。